

基本事業コード	20060001	担当課所名	秩父図書館
基本事業名	図書館管理運営事業		
総合振興計画 位置づけ	基本柱(章)	6	健やかに成長できる「共育のまち」
	政策	3	生涯学び続けられる環境づくり
	施策	2	生涯学習の場の充実
			総合振興計画 159 ページ

基本事業の概要	図書館所蔵資料整備及び新規資料の充実を図り、生涯学習社会にふさわしい資料提供のサービスを行うことにより、市民に読書の機会を提供する。
---------	--

対象	図書館利用者
意図 (対象をどのようにしたいか)	安全で快適な環境で、施設や資料をより多く利用してもらう

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
施設利用者数(来館者数)		人	72,720	75,000	69,985	72,500	
図書館資料貸出数(個人)		冊・点	260,199	270,000	282,100	290,000	
蔵書回転率	貸出数/蔵書数	冊	0.86	1	0.93	1	
人口1人当たり貸出冊数(図書・個人)	個人貸出冊数/人口	冊	3.89	—	4.31	4.7	平成23年度県内平均 5.65冊

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	図書館施設・資料管理事業	指標 図書館資料貸出数(個人)	270,000	冊・点	C	◎		
		95,930,155	63,600,770	70,892,000	282,100	拡大 拡充		
02	★ 秩父図書館エレベーター改修事業	指標 修繕実施率	100	%	D			
		0	5,775,000	0	45	完了 完了		
03	★ 郷土資料保存事業	指標 脱酸処理点数	1,500	点	A			
		0	3,674,928	3,688,000	1,225	維持 拡充		
04	秩父市史資料編刊行事業	指標 秩父市史資料編発行部数	400	冊	A			
		450,000	1,899,000	450,000	400	維持 維持		
05	図書館主催事業	指標 のべ参加者数	3,000	人	B			
		406,960	503,660	512,000	3,621	維持 拡充		
06	対面朗読事業	指標 サービス提供率	100	%	B			
		94,000	110,800	119,000	100	維持 拡充		
07	図書館外資料提供事業	指標 移動図書館・総合学習文庫・朝読セット等の貸出冊数	39,000	冊	C	○		
		1,180,231	3,575,847	3,487,000	55,062	拡大 拡充		
08	視聴覚教育事業	指標 団体貸出点数	50	点	C			
		84,696	328,821	335,000	44	縮小 縮小		
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		102,198,000	83,782,000
事業費の合計(円) (A)		98,146,042	79,468,826
財源内訳	国庫支出金	55,855,000	
	県支出金		
	地方債	684,617	699,429
	その他特定一般財源	41,606,425	78,769,397
正規職員	業務量	6.05人	6.05人
	人件費(B)	35,950,649	36,424,031
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	7.94人	8.37人
	人件費	14,042,388	14,780,804
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		134,096,691	115,892,857

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はなにか？ 利用状況の確認のために指標を設定。貸出利用や講座・催しの利用者は増えているが、閲覧等の一般施設利用者は減っている。施設や設備の老朽化や慢性的な駐車場不足も影響しているか？資料の貸出数はここ数年減少していたが、「こどもどくしょポイントカード」を始めたことにより児童の利用が増えた。しかし、全体では蔵書数に比して利用が少ない。おススメ図書一覧の配布やミニ企画展示の実施を継続することにより、資料の利用促進にも努めていく。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 現状においては概ね妥当である。しかし、施設・設備の老朽化で修繕箇所が増えているため、今後は01を施設管理と資料管理に分けて考えたほうがよいかもかもしれない。02については、事務室(書庫)用エレベーターの改修は完了した。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 地域に密着した歴史的・地域的資料の収集・保存、生涯学習や知的文化活動、地域における情報の拠点としての機能を有しており、また、営利事業ではないため公共機関が主体的に運営することが妥当である。事業の継続性や専門性、公共性の確保からも、引き続き市直営の事業展開が必要である。主催事業の「おはなし会」「ピヨピヨタイム」や障害者向けサービスの「対面朗読」について、職員数が少ないため、事業の円滑な実施にはボランティアが不可欠となっている。現在の協力体制を維持しつつ、更なる活用を図ることも必要と考える。

◆改善提案◆

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 図書館施設は、老朽化によって修繕等の慢性的なメンテナンスが必要不可欠になっている。また、一般開架室及び閉架書庫が狭小であり、図書館機能の低下が起こっている。駐車場も狭く、主催講座の開催時は利用者に不便・不都合をもたらしている。各種設備で部品が製造中止になったものも多く、改修や交換の必要に迫られている。安全で快適な環境で利用してもらうためには、最も重点化すべき事業と考え図書館施設・資料管理事業を選択した。 図書館外資料提供事業は、移動図書館車が老朽化しており、安全な運行のためにも買い替えの必要があり重点化した。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	対面朗読サービスを必要としている人へ、障がい者福祉・高齢者福祉担当課を通じて周知。朗読講座修了者により多くボランティア登録をしてもらう。配架の一部変更につき、書庫を順次整理。移動図書館で、中学生にアンケートによる要望把握とお薦め図書の展示を実施。市報で巡回日程を周知。 福祉担当課を通じての対面朗読サービス周知は未実施。ボランティア登録者微減。開架整理は進んできたが書庫は遅れがち。移動図書館でのアンケートとお薦め図書の展示、市報への日程掲載は実施済
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案	エレベーターの保守部品が供給停止になるため、一般利用者と事務室(書庫)用の2基の設置換え工事が必要。24年度に緊急性の高い事務室(書庫)用エレベーターについて、改修工事を実施する。老朽化した移動図書館車の買換えをする。 事務室(書庫)用エレベーターについては、改修工事が完了した。
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案	酸性劣化が進んだ郷土資料への脱酸処理と補修を、数年に分けて実施。冷暖房用の冷温水発生機3台の定期整備、及び、閉架書庫の電動式書架の交換を、3区画に分け、1年1区画ずつ実施。使用が少ない価値の低い資料、類書等を除籍し、資料の整備を進める。駐車場の拡張整備。 酸性劣化が進んだ郷土資料に、脱酸処理を数年に分けて実施。導入後7年が経過した冷暖房用の冷温水発生機の定期整備を、1台ずつ3年計画で整備を実施。閉架書庫の電動式書架の制御系部品が製造停止となったため、3区画に分け交換実施。 郷土資料の脱酸処理は、2年目も実施完了。冷暖房用冷温水発生機は、1台目の定期整備が完了。閉架式書庫電動式スタックランナー交換修繕は、25年度に1区画実施のため、予算措置済。
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 対面朗読サービスを知らなかった人を知ってもらうことはできる。ボランティア登録者が増えれば、要望にも応えやすくなる。しかし、利用者が増えると、ボランティア謝礼の予算措置が必要となる。開架及び書庫の整理整頓が進むことにより、利用者・職員とも資料が探しやすくなり、提供しやすくなる。トイレは、1階の和式は2階の洋式に比べ汚される割合が高く、また利用者から洋式便座が冷たく辛いのでウォシュレットにしてほしいとの要望もあった。改修することにより衛生的になり、利用環境の改善につながる。工事中は使用できるトイレの数が減るが、対応できないことはない。その他の設備の修繕や整備も、利用環境の改善につながる。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	新井 時夫	電話番号 0494-22-0943
----------------------	-------	----------------------